

今後の社会教育委員のあり方について

平成21年2月18日（水）に平成20年度社会教育委員の会議（第5回）を開催した。事務局から教育委員会での協議経過等を説明し、あらためて「今後の社会教育委員のあり方について」意見交換した。

社会教育委員の会議としては、「社会教育委員は一度休止した上で、社会教育委員のあり方等について市で議論し、社会教育委員として協議すべき事項等が生じたときにあらためて委嘱する」としたほうがよいという結論に再度達した。

出された主な意見等は次のとおり。

- ①PTAなど充て職として委員になる場合、社会教育全般について議論することは難しい。やはり個別の審議会で専門的に議論したほうがよいと思う。
- ②宗像市はコミュニティを含め先進的な取り組みをしており、参考となる事例も少ない。一度休止して、あり方等について市できちんと議論してもらい、必要があれば再度立ち上げるべきである。
- ③社会教育という視点だけではなく、市民活動やまちづくりの視点を含めて考えなければならなくなっており、特に宗像市ではその傾向が強い。そういった意味でも市民参画等推進審議会が社会教育委員の役割を担っていくのであれば発展的の休止ということだと思う。
- ④福岡県社会教育委員連絡協議会には引き続いて参加しておいたほうがよい。